

高等学校

- ホームルーム活動
- 授業づくり
- 好意に満ちた教師の言葉かけ

高等学校～ホームルーム活動

掲示の仕方の工夫

【実態】

- 生徒が掲示物をしっかり確認しない面がみられました。

【背景】

- どこに何が貼ってあるかが分かりにくい掲示になっていました。

【指導や支援の工夫】

- 内容ごとに分類して掲示し、タイトルを付けて掲示するようにしました。



【その時点の状況】

- 生徒が掲示物の内容を確認するようになり、学級も落ち着き始めました。

視覚的な支援の工夫

【実態】

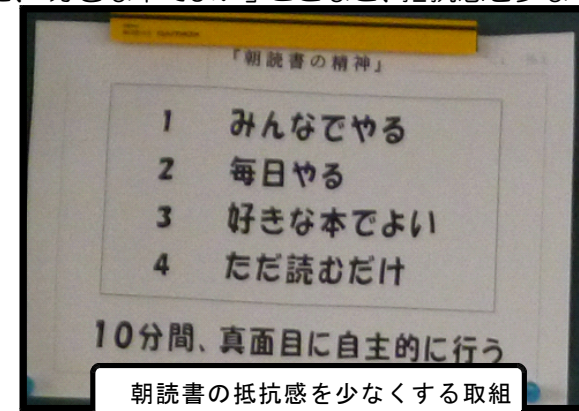
- 朝読書に取り組まない生徒がいました。

【背景】

- 朝読書の仕方が分からないことや、読書に対する抵抗感があることが考えられました。

【指導や支援の工夫】

- 「朝読書の精神」と称して、朝読書の仕方が分かるように示しました。また、「好きな本でよい」ことなど、抵抗感を少なくしました。



【その時点の状況】

- 生徒全員が朝読書に集中して取り組み、朝のSHRが落ち着くようになりました。

高等学校～授業づくり

ワークシートの工夫

【実態】

- 板書を書き写すのに時間がかかる生徒がいました。

【背景】

- 板書の量が多く、生徒の学習の理解も十分でない面がありました。

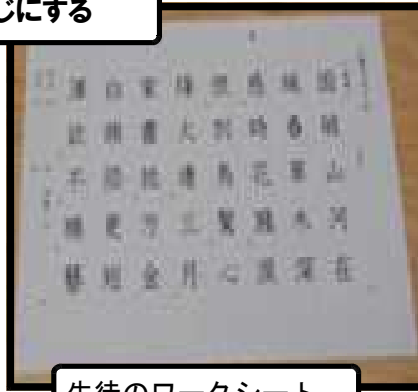
【指導や支援の工夫】

- 板書と同じワークシートを配付し、分かりやすくするとともに、生徒の板書を書き写す量を減らしました。

板書とワークシートの
内容を同じにする



教師の板書



生徒のワークシート

【その時点の状況】

- 集中して学習できるようになってきました。

問題解決の工夫

【実態】

- 数学における文章問題の意味を理解するのに時間がかかる生徒がいました。

【背景】

- 文章問題の内容を理解して、式を作ることができない傾向がありました。

【指導や支援の工夫】

- 長さについての問題において、実際に測って切った紙を活用した解決を促すことにより、生徒の理解を深めました。



ホワイトボード



生徒の活動の様子

【その時点の状況】

- 問題の意味を理解し、解答できるようになってきました。

高等学校～授業づくり

視覚的な支援の工夫

【実態】

- 動きのポイントにそった体の動かし方を把握できない生徒が多くみられました。

【背景】

- 動きを、実感を伴って理解することができていませんでした。

【指導や支援の工夫】

- バレーボールにおける生徒の動きをタブレット端末で撮影し、生徒が自分の動きを客観的に見て、理解できるようにしました。



自分の動きを録画し、映像を見て考える

【その時点の状況】

- 動きのポイントを視覚的に示したことにより、理解が深まり、進んで運動に取り組めるようになってきました。

個別面談による支援

【実態】

- 学習や人との関わりで困難さのある生徒がいました。

【背景】

- 一斉授業の中で取り組むのが難しい傾向がみられました。

【指導や支援の工夫】

- 特別支援教育コーディネーターが計画し、教科担任やHR担任などが昼休みや放課後の個別面談で、授業で分からなかった箇所を確かめるとともに、その場でできることとして、

- 教科書やノートの前のページを確かめる
- 教科書の巻末資料を活用する
- 先生に聞く
- 辞書を引く

など、具体的な行動を当該の生徒とともに考えました。

【その時点の状況】

- 日常の授業において困難を感じる場面が少なくなり、積極的に学習に取り組めるようになってきました。

高等学校～授業づくり

説明し合う学習の導入

【実態】

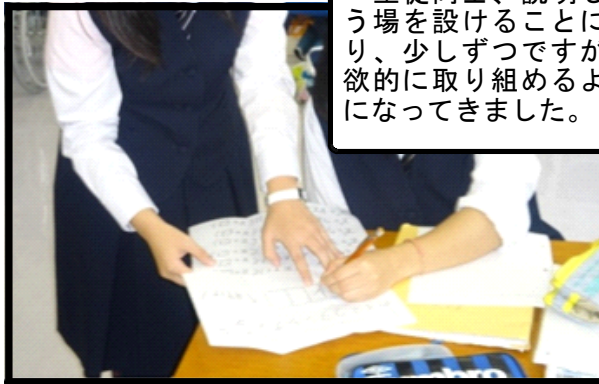
- 因数分解など、計算の領域で生徒間に学力の差がみられました。

【背景】

- 数学に対する苦手意識が強い生徒が多い傾向がありました。

【指導や支援の工夫】

- 数学で、解き方を生徒間で説明し合う場を設定しました。



生徒同士、説明し合う場を設けることにより、少しずつですが意欲的に取り組めるようになってきました。

【その時点の状況】

- 数学が苦手な生徒も少しずつ意欲的に取り組むようになりました。

興味・関心を高める学習の工夫

【実態】

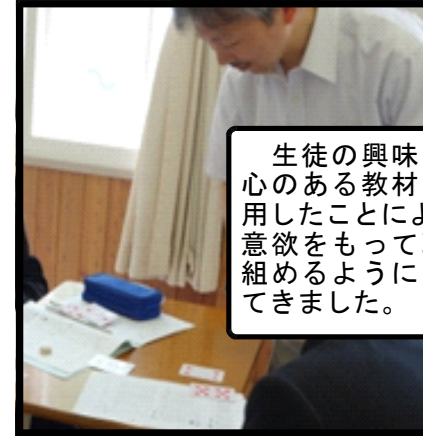
- 中学校の英語の学習が定着していない面がみられました。

【背景】

- 反復練習を行うだけでは、学習活動への意欲が続かない傾向がありました。

【指導や支援の工夫】

- 2枚のトランプを出してかけ算を行い、その答えを英語で声に出して答えるなど、興味・関心を高める学習活動を取り入れました。



生徒の興味・関心のある教材を活用したことにより、意欲をもって取り組めるようになってきました。

【その時点の状況】

- 中学校の学習にも意欲をもって取り組むようになってきました。

高等学校～授業づくり

授業中の指示の工夫（全校）

【実態】

- 生徒が教師の指示を聞き逃すことが面がありました。

【背景】

- 教師の指示が徹底していない傾向がみられました。

【指導や支援の工夫】

- 指示の出し方について、次のようなことを全校で共通理解を図りました。

1 回の指示の内容を絞り込む。

指示を板書する。

指示を書いたプリントを配る。

指示を聞く時、メモをとるよう促す。

【その時点の状況】

- 指示を出す時に配慮することで、教師の指示を聞き逃すことがなくなりました。

授業全体の配慮の工夫（全校）

【実態】

- 授業に集中できない生徒がいました。

【背景】

- 教師側の配慮が十分でない傾向がみられました。

【指導や支援の工夫】

- 「校内研修プログラム」の「授業づくり」の研修シート試案をもとに、授業中の教師の配慮を確認し、どの教科でも取り組むこととしました。

全校で確認した授業中の配慮

- 本時のねらいを明確に示す。
- 本時の流れを板書する。
- 学習内容がどのような場面で役立つかを伝える。
- ペアやグループの学習活動を取り入れる。
- 板書は消さずに、最後に、今日の学習を振り返る際に活用する。
- 授業の最後に「確認問題」などで、学んだことを確かめるようにする。

【その時点の状況】

- どの教科の授業でも統一して取り組んだことで、生徒が集中して取り組むようになってきました。

高等学校～好ましくない言葉がけを好意に満ちた言葉がけに変える例

	好ましくない教師の言葉がけ	好意に満ちた教師の言葉がけ
1	「こんなことも分からないで、よく中学校を卒業できましたね。」	「よし、中学校までの学習に戻って先生と一緒にやってみよう！」
2	「もう、やりたくないなら、帰っていいですよ。」	「まず何から取り組もうか。」
3	「何で、できないんだ！」	「どこから分からなくなっているのか、先生と一緒に考えよう！」
4	「あなたに頼んだ私が、バカでした。」	「大丈夫！次は期待してるよ！」
5	「どうせ、やる気ないんでしょう。」	「何か嫌なことがあったんだね。気持ちのきりかえができるまで待ちますよ」
6	「話、聞いてなかったのですか。」	「大事なことになるので、もう1回言います。しっかり聞いてください。」
7	「～なんですよね。」 (決め付ける言い方)	「先生は〇〇と思うんだけど、どう思う？」
8	「何度も同じこと、言わせるな！」	「大事なことをもう一度言います。しっかり聞いてくださいね。」
9	「やっぱり、君はだめか。」	「前に確認したことを思い出してみましょう。」
10	「どういうつもりだ！」	「どうしたらよいか、一緒に考えましょう。」